

「男も取れる育児休業制度」が合併前に制度化されたのが1985年。日本で初めてということでは全国に田無市の名を知らしめたと記憶しています。その後他の自治体も追いついて2001年の合併後、西東京市には全国的に誇れる政策があるでしょうか。

日経新聞による住みやすい自治体ランキングでは、西東京市は昨年81位から21位と順位を上げてきているそうですね。住みやすい自治体とは何を評価してのことでしょうか。空気？みどり？有名人が居る？

高齢化率20%の現在、そして今後ますます高齢化率が上がるということが予想されているなかで、住みやすい自治体といえるような特別な施策があるでしょうか。

☆☆☆

現代の人々の暮らし方は十人十色。シングルを選択しておひとりさまで暮らす人生もあれば、死別離別でシングル・アゲイン組もあります。また、高齢者世帯でも、高齢化が進めば一人暮らしも増えていきます。武蔵野市は介護先進地

域として、全国に名を馳せた武蔵野方式で新しい制度や福祉公社を作りました。歳を取ったら老後は武蔵野市で、と考える人もいます。西東京市でも西東京市方式で住みよい町として安心して暮らし、老いていける制度ができるといいですね。

今日の非常識は明日の常識。そう言い続けてきて、向かい風はいつのまにか追い風となり、そのうち逆風になりました。男女平等参画政策が伸び悩んでいる東京都において、2008年度、西東京市には男女平等推進センターの開設が計画されていることは、まさに

逆風に立ち向かっているといえるでしょう。高齢社会は男女平等で乗り切るほかありませんから。

☆☆☆

今日は「おひとりさま」でOK？と言うクエスチョンに「イエス！OK！」と答えを出したいと思います。

夫婦二人の暮らしでは、相手のことをパートナーとも言います。パートナーシップとは1対1の関係です。パートナーシップとネットワークの違いは、1対1の関係でなく、つながる相手がいくついてもいいことを言います。1対1の関係ですと、パートナーを失うと痛みはとても大きい。そんな時にネットワークが支えになることを知っているのは女性のほうです。女性、男性に関係なく堂々シングルを生きている人、また離別、死別と途中からおひとりさまになった人。ひとりになる経緯は様々でも、なっつてしまえばみんな同じ。おひとりさまの暮らしの知恵は同じです。

いつまでも家に居る娘に、親は老後のためにも結婚して子どもを

平等参画推進フォーラムより

でOK?



上野 千鶴子さん

でいきる道」